

の・び・の・び

お子さんの こんな気になること
ありませんか？

- ☑ 大きな音に驚かない
- ☑ 呼びかけても返事がなかったり、反応がにぶい
- ☑ 何度も聞き返す
- ☑ テレビの音を大きくする
- ☑ やたら大きな声で話す（小さい声で話せない）
- ☑ 習得する言葉が増えにくい



  耳が聞こえにくいサインかもしれません。

しんしゅつせいちゅうじえん 滲出性中耳炎

こまくの奥に液体がたまった状態。多くは急性中耳炎に引き続いておこる。急性中耳炎は、激しい痛みがあるが、滲出性中耳炎は、熱や痛みがないことが多く、耳が詰まったように聞こえにくくなる。



がいじどういぶつ 外耳道異物

子どもはおもちゃのパーツや、豆、小石などを耳にいれてしまうことがある。このような異物で聞こえにくくなることも。耳の中を傷つける恐れがあるので、無理にとろうとせず、病院を受診して取ってもらいましょう。



じこうせんそく 耳垢栓塞

耳あかが詰まってしまっている状態。耳そうじを頻繁にする子ほどなりやすい。耳の穴が狭いうちは耳そうじが難しく、子ども用の綿棒を使って耳あかを逆に奥へ押し込んで固めてしまうことがある。難しい時は耳鼻科で耳そうじをしてもらう。



かむ力のつけ方

かむ力をつけるために、まず大切なのは離乳食の取り方です。唇で食べ物を取り込めるようにしてあげると、歯ぐきや歯でかみ、舌でのどの奥に送るようになり、確実にかむ力がついてきます。子どもの口の奥の方に食べ物をいれてしまうと、咬まずに飲み込むしかなくなるので注意しましょう。

2歳以上のお子さんは、「きゅうりを食べるとどんな音がする？」などと声をかけながら、かむことの楽しさを伝えてあげるといいですね。

かかりつけ歯医者さんをもちましょう

かかりつけ歯科医さんのお仕事

- ・ 歯科健診…むし歯や歯周病がないかの診断
- ・ 歯石除去…自分では磨けないところの歯茎の中などの歯の汚れをとる。
- ・ 歯科保健指導…年齢に応じた口の状態をみて、歯磨きの仕方や食習慣のアドバイス
- ・ フッ素塗布…歯の質を強くするフッ素を塗る（家庭ではフッ素入りの歯磨き剤を使用する）
- ・ むし歯や歯周病の治療

かかりつけ歯科医さんをもつことで、歯と口の中の健康を保たせるばかりでなく、全身の病気との関わりもすることができ、情報を共有するスムーズな治療へ進む環境づくりもあります。お子さんだけでなく、家族皆さんで歯と口の健康づくりをしましょう。

